LEICA X1

As spontaneous as life itself.

CONTENTS

HAVANA SNAPSHOTS	04
LEICA X1	10
TECHNICAL DATA	18
ACCESSORIES	22

HAVANA
SNAPSHOTS

ハバナのマレコン通り。港口のあたり。撮影セットはこの近くに設置された。

LEICA **X1**

かけがえのない瞬間を撮る理想的な旅の友

レゲトンのリズムが狭い通りに響き渡る。容赦なく照りつける太陽の下、光り輝くクラシックな車が並ぶ。それらはみな、はるか昔に生産中止になったものだが、愛情を込めてぴかぴかに磨き上げられている。ほとんどの建物が古く、ファサードの漆喰は剥がれている。中には、次の突風に持ちこたえられるだろうか、と思うほど古い建物もある。また、ある地区では、お互いを支え合ってかろうじて立っているような、老朽化した植民地時代の建物も見かける。男たちは日陰に腰掛け、ドミノをして時間をつぶす。通りの少し向こうの方では、ミュージシャンがサルサを演奏している。それに合わせて踊る若いカップル。1人の男が、溢れんばかりのライムを積んだ手押し車を押して、数人の老女のそばをゆるゆると通り過ぎる。老女たちは通りの端で語り合っている。おそらく自分たちと同じくらい年月を経た物語を。

トーマス・ステファンが、ライカX1を手に、気だるいハバナ旧市街を歩いたときの第一印象はざっとこんな感じである。トーマスはフォトグラファーのアシスタント。ファッション撮影のため、40名のクルーの一員として、キューバの首都ハバナへやってきた。滞在しているホテルから、撮影セットが設営されたマレコン通り（ハバナの有名な海岸通り）へ行くには、セントロ・ハバナという下町を通り抜ける必要がある。ここは、荒廃がもたらす美に満ちた地区だ。ハバナがこれほど魅力的なのは、この地区のおかげもあるだろう。バロック様式やネオクラシック様式の荒れ果てた建造物。その壮麗さ……。トーマスは、この町の過去の繁栄について束の間思いをめぐらせた。しかし現在も、ハバナは素晴らしく豊かな恵みに満ちている。この街には、物語やイメージ、喜びや情熱があふれているのだ。

ハバナ旧市街を抜けて、撮影セットの現場に向かう。その道すがら、無数の魅力的な情景が目に飛び込んでくる。

マレコン通りの撮影セット。ボクシングリングの設営、ライトの調整、バイザーの点検など、準備は着々と整いつつある。

トーマスはまさしく最初の瞬間から、生き生きとしたハバナのリズムに強く引き付けられた。事実、単なる傍観者ではなく、この街にすっかり同化してしまった。ハバナという街は、率直で、偽りがなく、開放的だ。カリブ海上諸国の中で4番目の大都市だというのに、まるで色彩豊かな野外ミュージアムのような雰囲気を持っている。トーマスはマレコン通りに行くまでの道すがら、さっと通り過ぎる無数のイメージを気軽にカメラに収めることができた。コンパクトで使いやすいライカX1だから可能なこと。躍動的なこの街と同じように、あるがままに魅力を発揮するライカX1。いつのまにかその場の息吹をとらえてしまう。

クルーの一行は、すでにマレコン通りに到着していた。若者や漁師や泳ぎを楽しむ人たちが、集まっている。その中央に撮影セットは造られていた。まさに堤防の上だ。ボクシングのリングというこのセットは、きわめてエモーショナルな今回のファッション撮影には、完ぺきな背景だと言えるだろう（キューバは、数多くのボクシングチャンピオンを輩出している国として、また、ボクシングに熱狂的な国として有名である）。しかし、この素晴らしいセットを背景に写真撮影を始めるには、照明装置の組み立て、露出のチェックなどその前にするべきことがまだたくさんある。モデルは、フォトグラファーとキューバ人のボクシングコーチの指示に合わせてポーズをとる。トーマスは合間を見つけては、ライカX1を使って、まったく異なる視点からこの撮影のエッセンスを記録していく。撮影の舞台裏で進行するさまざまな人生「無意識に語られるインサイド・ストーリー」を撮るのだ。これを容易にしてくれるのは、ライカX1。ハンディで目立たないから、被写体の注意を引いてしまうことがない。しかし、それが記録する画像については、まったく逆のことが言える。すなわち、それぞれの被写体は、ライカX1の卓越したクオリティによって、光り輝く存在となるのである。

LEICA **X1**

ボクシングリングで。気温31度、湿度96パーセント。過酷な条件の下で、モデルとフォトグラファーのチームワークによる撮影が行われる。

LEICA **X1**

コンパクトなボディに卓越したパフォーマンス

原寸大：カメラ本体のカラーはスチールグレーまたはブラック

世界最高画質のカメラを開発したい。ライカのカメラはすべて、この願いから生まれています。ライカX1には、100年を超える歳月を経て培われたドイツの工学技術の英知が結集されており、このクラスで最高の画質を実現しました。ライカX1は、ライカが誇る伝統の産物です。このエレガントなカメラに搭載されているのは、プロ仕様CMOSイメージセンサー。そのサイズは高級デジタル一眼レフカメラのイメージセンサーに匹敵します。卓越したライカレンズとプロ仕様のイメージセンサーの組み合わせにより、他に類を見ない明るい画像を実現します。ほどよいコンパクトさと直感的な操作性。そして、最先端のオート撮影機能も充実したカメラです。

サイズ

ハイレベルの画質を求めるなら、大型センサーが必要です。ライカX1は、高級デジタル一眼レフカメラの多くに採用されている大型イメージセンサーと同サイズのAPS-CフォーマットCMOSイメージセンサーを、驚くほどコンパクトに搭載しています。このコンパクトなライカX1は、1220万画素という解像度にも関わらず、センサーの個々のピクセルサイズは効率よく受光するのに充分な大きさを誇り、低画像ノイズ、広いダイナミックレンジ、正確な色再現を確保することで、プロ仕様カメラに匹敵するパフォーマンスレベルを実現します。これまでになかったユニークなカメラの誕生です。

イメージセンサーの比較―写真はすべて原寸大

ライカX1、APS-Cフォーマット

フォーサーズ

コンパクトカメラ 1/1.63型

コンパクトカメラ 1/2.33 型

万能なレンズ

写真の歴史を彩る数々の印象的なショットが、単焦点レンズの35mmにより生み出されました。35mmはルポルタージュ写真の代表的な焦点距離とされており、時代を超えるそのカリスマ性は今日でも全く色褪せてはいません。ライカエルマリートf2.8/24mm ASPH.は、並外れた光学性能を持つ真のライカレンズです。35mmフィルム判換算で、ほぼ伝説的な焦点距離35mmになります。わずかに広角よりの焦点距離は、必要に応じて思い通りの距離から印象的な写真を撮るのに十分であり、被写体に近づいて細部をとらえることも可能です。ライカエルマリート f2.8/24mm ASPH.なら、どんなショットも情景もニュアンスも、また見事なディテールも撮り損なうことはありません。

シンプル

画質に関して、ライカX1は「大物」の風格を漂わせています。しかし必要であれば、ごく簡単に直感的な操作も行えます。X1には正確なオートフォーカスから自動露出までさまざまなオート撮影機能が搭載されています。技術的な詳細はカメラに任せ、フォトグラファーは構図や、逃すことのできない最も大切な瞬間に集中できるのです。難しい操作は必要ありません。まったくのビギナーでもライカX1ならすぐに使いこなせるでしょう。クオリティの高いライカの写真を、とても簡単に撮れるカメラが遂に登場です。

クラシックデザイン

一見シンプルですが、機能的なフォルムを究極まで表現したクラシックライカ。ライカX1は、そのデザイン性、スタイルを体現しました。頑丈なオール金属外装、高品質な合成皮革の感触、明確なライン、そして無駄を極力省き本質のみを残したフォルム、これらの特徴がすべて相まってライカX1はコンパクトながら真にライカらしいカメラに仕上がっています。そしてどの瞬間にでもベストの1枚が撮れるという静かな自信につながっているのです。フォトグラファーを絶対に落胆させない、物足りなさを感じさせない確かなクオリティを発揮します。ジャケットのポケットにスッポリと収まる、ほどよくコンパクトなライカX1。ポケットから取り出してシャッターを押せば、その素晴らしさが分かるはずです。

LEICA **X1**

人生のようにあるがままに

4

1

3

2

世界は常に動いています。それがあるべき姿なのです。ライカX1を手にしたフォトグラファーは、そんな一瞬の情景や印象をありのままに、臨場感を損なうことなく、さりげなく撮れるというフレキシビリティを得られます。オートフォーカスが被写体に照準を合わせ、自動露出が最適な絞りとシャッタースピードを選び、一連のオート撮影機能が完璧な精度を実現します。このオートモードを選べば、シャッターを押すだけで、一瞬のうちに最高の1枚を残すことができます。もちろんフォトグラファーとしてのインスピレーションを発揮して、さまざまな設定を調整し、自由自在に撮影プロセスをコントロールすることもできます。あるがままに、あるいは狙い通りに、どんなときでもライカX1は最高の1台です。

スタイルをチェンジ：次の撮影のため、スタイリストがモデルのヘア/メークを変える。

1 自由自在の
トータルコントロール

ライカX1は、多彩なオート機能によりスピードが最も重要となる場合にも素早く対応できます。一方、マニュアル機能を使えば撮影の幅が広がります。絞りもシャッタースピードも、カメラ上部にある簡単設定ダイアルでマニュアル調整が可能です。ダイアル設定を利用すれば、クリエイティブな写真撮影に集中できます。正確な焦点距離、ホワイトバランス、その他さまざまな画像パラメータもマニュアルで設定可能です。このようにライカX1はクリエイティブな写真撮影をマニュアル操作で行えるとともに、必要に応じてオート撮影機能に瞬時に切り替え、素早く対応できます。そのスピードとフレキシビリティは、見事の一言に尽きます。

---

2 卓越した
オートフォーカス

オートフォーカスシステムを搭載したライカX1は高速かつ高精度なフォーカシングを実現し、フォトグラファーの瞬時の対応を可能にします。また、状況に合わせたオートフォーカスモードの調整も可能です。1点AFと11点AFが選択可能で、さらにそれぞれにハイスピードモードが用意されています。人物の写真を撮るときは顔認識モードを選択することで、写真の構成とフレーミングだけに集中できます。

---

3 大型ディスプレイ

このサイズのカメラでは最大クラスの液晶モニターを誇ります。モニターには鮮明な2.7インチディスプレイを使用、カメラのほぼ背面全体を占める大きさで、周囲が明るい状況でも細部までクリアに表示することができます。ライブビューは光学ファインダーのように機能し、撮影画像のプレビューを各種設定情報とともに正確に表示することができます。また、ライブビューを活用すればいつもと違う視点からも自由に風景を切り取ることができます。

---

4 自然光での撮影

ライカX1は、照明条件が悪い場合でも自然光をクリエイティブに生かすことができます。内蔵の大型センサーは最高感度ISO 3200で驚くほどのパフォーマンスを発揮し、高速レンズが常に十分な光を集めます。画像ノイズをできるだけ抑えることで、夕暮れ以降もしばらくは撮影が可能です。自分だけのナチュラルなイメージを狙いながらも、周りの環境に左右されず、目立たずにイメージをとらえたいフォトグラファーにとってパーフェクトなカメラです。

ちょっと休憩。次の撮影に備えて、モデルは軽い食事と散歩に出かけた。

ライカX1を使えば、人生のひとコマをそのまま切り取ったような、とっておきの写真が撮影できます。それは眺めるたびに、今まで気づかなかった新しい発見があるような写真です。ライカX1で撮った画像が魅力的で、並外れて素晴らしいといわれる理由がここにあります。また、ライカX1そのものにも、目に見えない魅力が詰まっています。例えばフラッシュは、必要なときのみ露出させます。ライカX1の高性能を誇る多彩なアクセサリーにより、撮る人それぞれのニーズに合わせたカメラの調整が可能です。

LEICA X1

スマートエクストラ

内蔵フラッシュ

高速レンズと幅広いISO感度によりライカX1はフラッシュが必要になることがほとんどありません。それでも、ライカX1の収納式フラッシュは、別光源を用意した場合以上のパフォーマンスを実現します。日中シンクロとしても使用できるほか、シャッタースピードを長くしたいときはシャッターの後幕とシンクロさせることも可能です。また、もっと光量や柔軟性が必要な場合は、ライカSF 24DやSF 58のシステムフラッシュをX1のホットシューに取り付けることもできます。

汎用性の高いデータ保存形式

ライカX1では、即座に画像を利用できるJPEGファイルに画像データを変換するように指定できます。また、画像ファイルをAdobe® Digital Negative Format（DNG）で保存するよう選択することも可能です。DNGは、センサーが記録したデータの画像処理がしやすい形式です。またライカX1ユーザーは、Apple Mac® OS XやMicrosoft Windows® 対応のプロ仕様デジタルワークフローシステムであるAdobe® Photoshop® Lightroom® を、インターネットから無料ダウンロードにて利用できます。このデジタル画像処理ソフトにより、デジタル画像の管理、処理、表示の幅広い機能を提供します。

光学ファインダー

レンズの焦点距離に合わせた専用アクセサリーのファインダーをホットシューに取り付ければ、ライカX1を180度異なるタイプのカメラとしてもお楽しみいただけます。このオプションのファインダーを取り付けたカメラをアイレベルに持ち上げ、一瞬のうちに被写体に迫り、シャッターを押す ～まったく目立たず瞬間的な出来事です。また、ファインダーを使用するときは、必要に応じてカメラのモニター電源をOFFにしておくことができます。モニターがOFFでも、オートフォーカスが合焦したかどうかは、分かりやすくLEDランプで確認できます。

オプションアクセサリー

ハンドグリップを使用すれば片手操作も自由自在です。ハンドグリップにより右手の指でしっかりとカメラを握ることができます。このほか速写ケースなど、ライカX1用のカメラケースも充実しています。カメラを保護し、素早く柔軟に撮影ができるハンディなカメラを実現する速写ケースは、ハンドグリップを取り付けたカメラを収納でき、キャリングストラップに取り付けてファインダーを収納する小ケースも付属しています。また、カメラを完璧に保護できる高品質なキャリングケースや、カメラとアクセサリーをすべて収納できるデザイン性に優れたシステムケースもあります。

LEICA X1

TECHNICAL DATA

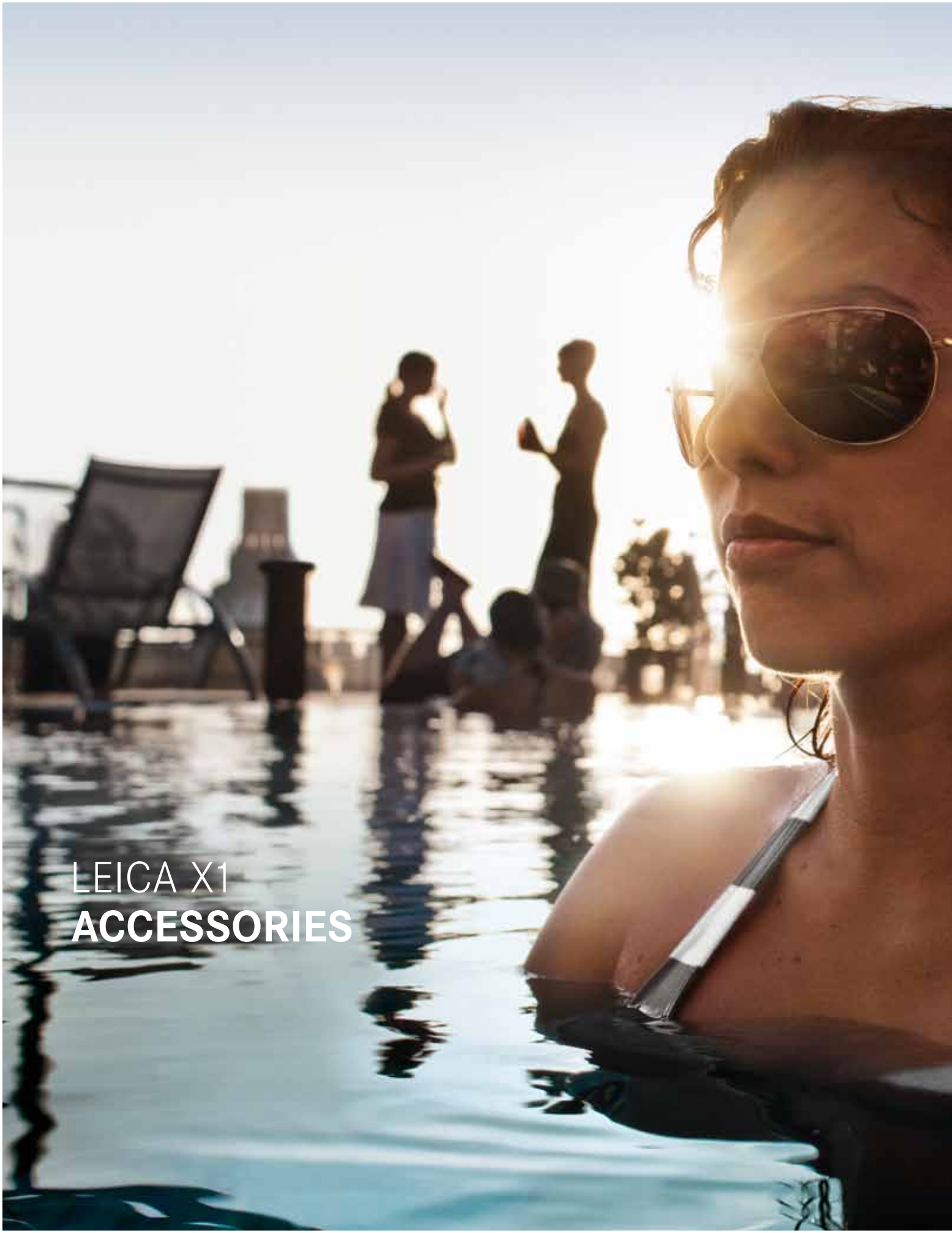
モデル、フォトグラファー、エージェント、スタイリストーチームは協力して仕事を進めていく。雨が降り出す前に撮影を終えなければ。プレッシャーが重くのしかかる。

LEICA X1

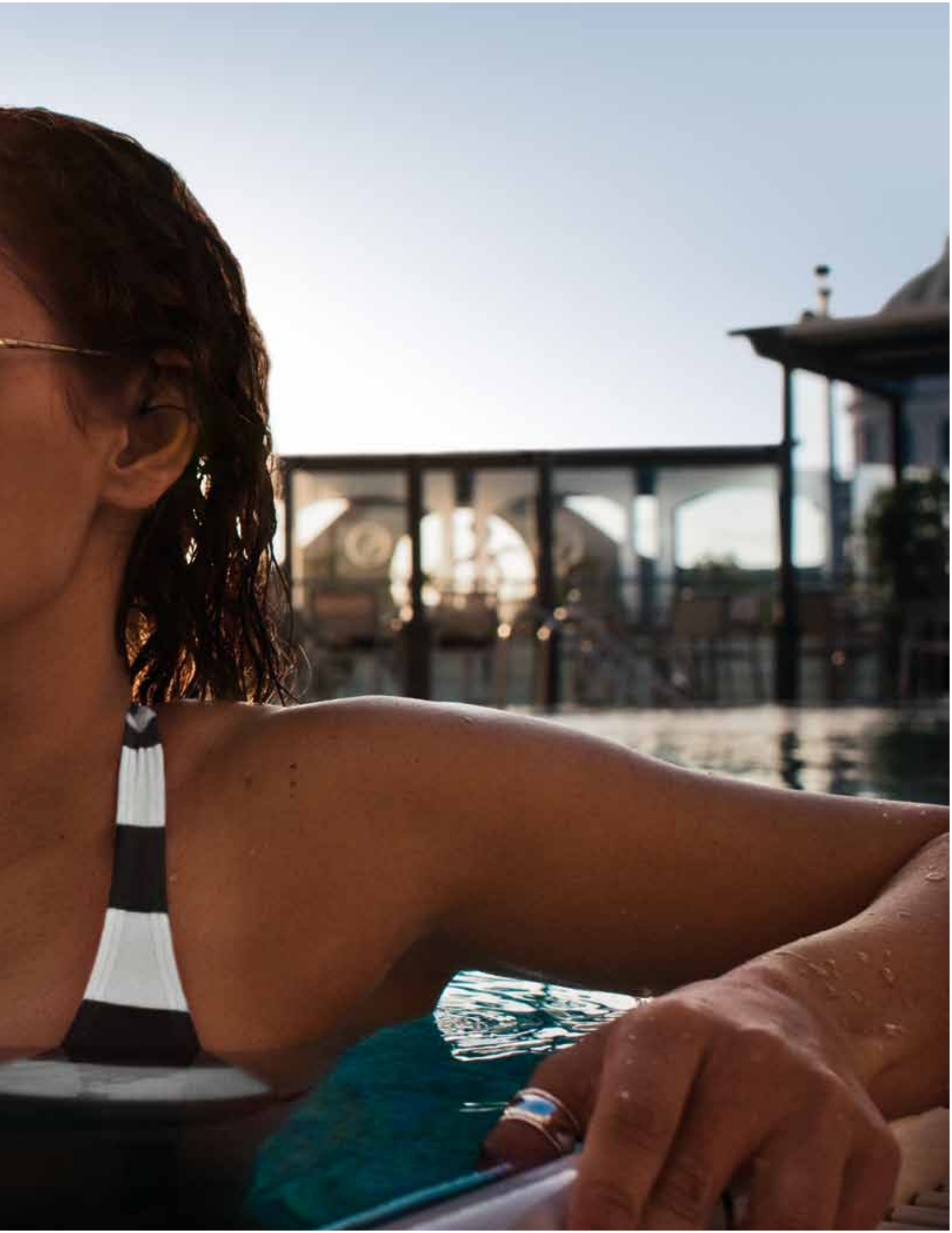
テクニカルデータ

製品名	ライカX1	ブラック	スチールグレー
製造番号		18400	18420
レンズ	ライカエルマリート　f 2.8 / 24mm ASPH.、8枚6群構成、非球面レンズ1枚		
焦点距離	f = 24mm（35mm判換算：36mm相当）		
絞り	f 2.8 / f 16.0（1/3EVステップ）		
撮影範囲	通常：60cm ~ ∞、マクロ撮影：30cm ~ ∞、マニュアル撮影：30cm ~ ∞		
AF測光	1点/1点高速/11点/11点高速/スポット/顔認識		
イメージセンサー	APS-Cサイズ CMOSセンサー、総画素1290万画素、原色フィルター		
カメラ部有効画素数	1220万画素		
ISO感度	オート/100/200/400/800/1600/3200		
ホワイトバランス	オート/タングステン/晴天/フラッシュ/曇り/日陰/マニュアル1/マニュアル2/ホワイトバランス調整（2光軸）		
露出	プログラムオート/絞り優先オート/シャッター優先オート/マニュアル		
露出補正	1/3EVステップ、－3 ~＋3EV		
オートブラケティング	1/3 ~ 3EVステップ、3コマ		
測光方式	インテリジェントマルチ測光/中央重点測光/スポット測光		
シャッタースピード	30 ~ 1/2000秒		
フィルムモード	標準、ビビッド、ナチュラル、BWナチュラル、BWハイコントラスト		
画像横縦比	3:2		
画像サイズ	4272×2856（1220万画素）、3264×2160（700万画素）、2144×1424（300万画素）、1632×1080（180万画素）		
画質	JPEGスーパーファイン/JPEGファイン/DNG+JPEGスーパーファイン/DNG+JPEGファイン		
連写モード	3コマ/秒、2コマ/秒、JPEGファイン+RAWでの最大コマ数：6コマ		
内蔵メモリー	約50MB		
内蔵フラッシュ	オート、オート/赤目軽減、強制発光、強制発光/赤目軽減、スローシンクロ、スローシンクロ/赤目軽減、先幕/後幕シンクロの設定可能		
ホットシュー	あり、SF24D/SF58に対応		
液晶モニター	2.7インチ液晶（カラーTFT LCD）、23万画素、 視野：100パーセント		
再生モード	16枚サムネール表示、ズーム再生（最大16倍）、画像回転、プロテクション		
記録媒体	内蔵メモリー（約50MB）、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード		
インターフェース	HDMI出力、USB（USB2.0高速）		
電源	リチウムイオンバッテリーパック（付属）		
バッテリー寿命 （CIPA標準）	約260枚		
寸法（約）	高さ63×幅124×奥行き49mm		
重量（約）	286g（バッテリーなし）		
付属品	バッテリー、充電器、バッテリー保護カバー、キャリングストラップ、USBケーブル、レンズキャップ、取扱説明書、 Adobe® Photoshop® Lightroom®（製品登録後にダウンロード）		

ホテルに戻る途中、太陽が再び姿を現した。先ほどの大雨が嘘のようだ。



LEICA X1
ACCESSORIES



ホテルの屋上プールで、その日の疲れを癒す。

LEICA X1

アクセサリー

ファインダー

商品コード：18707

36 mmブライトフレーム付きの外付けファインダー（黒）をカメラのアクセサリーシューに取り付けると、常にクリアーな視界を確保でき、無駄な電力消費も抑えられます。

ハンドグリップ

商品コード：18712

外付けのハンドグリップを使用すれば、片手で撮影するときなどにカメラをしっかりと安全に取り扱えます。

ハンドストラップ

商品コード：18713

黒の高級革製ハンドストラップは、カメラが手から滑り落ちるのを防ぎます。

ライカSF 24Dフラッシュユニット

商品コード：14444

被写体を自由に照らすことのできる外付けフラッシュユニットです。

速写ケース

商品コード：18710

子牛革でできたエレガントな速写ケースは、ハンドグリップを取り付けたままカメラを収納できる充分なスペースを確保しています。速写ケースにはファインダー収納用の小ケースが付属しており、キャリングストラップに取り付けられるようになっています。

システムケース

商品コード：18711

デザイン性に優れたシステムケースは、カメラやアクセサリーをまとめて収納できます。

レザーケース

商品コード：18709

ライカX1のエレガントなデザインにぴったりな高品質な茶色のレザーケース。持ち運び中や使用していないときにカメラを保護します。

ライカBP-DC8-J スペアバッテリー

商品コード：18706

バックアップ用として便利なバッテリーで、撮影の楽しみが広がります。

夜明け前の輝き：ほとんど人気のないマレコン通りの背後に月がすべり落ちる。

日が昇り、金色の光がハバナの街全体を包む。今日もいい写真が撮れそうだ。

A Trademark of the Leica Camera Group
“Leica” and product names = ® registered trademarks
© 2010 Leica Camera AG
HDMI, the HDMI Logo and High-Definition Multimedia Interface are trademarks or
registered trademarks of HDMI Licensing LLC.
We reserve the right to make changes in construction, features, and offers without advance notice.
Concept and design: argonauten G2, Frankfurt
Product photography: Alexander Göhr
Editorial photography: Thomas Stefan
Brochure order no.:
German 91 554 / English 91 555 / French 91 556, 09/2010
Leica Camera AG / Oskar-Barnack-Strasse 11 / 35606 SOLMS / GERMANY
Phone +49-6442-208-0 / Fax +49-6442-208-333 / www.leica-camera.com

ライカカメラジャパン株式会社 / 東京都千代田区有楽町1-7-1 /
Tel 03-5221-9501 / Fax 03-5221-9502 / www.leica-camera.co.jp